

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ひまわり号 30周年記念イベント
事業主体 (連絡先)	ひまわり号松本実行委員会 (事務局長：横山浩一 電話(0263)26-6580)
事業区分	保健・医療・福祉の充実
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	2,180,930 円 (うち支援金：1,252,000 円)

#### 事業内容

地域の大学等でひまわり号の活動を紹介し参加を促進  
 信州大学医学部看護学科授業(平成26年6月18日)  
 松本短期大学看護学科授業(平成26年10月22日)

障がい者の社会参加を促進させる日帰り旅行実施し  
 障がい者と健常者互いに理解し合い協力し合う。  
 リフト付観光バスを利用し車椅子者も安心安全な旅行  
 日時：平成26年8月31日(日)

ひまわり号が30年間取り組んで来た事業PR  
 ドキメンタリー映画上映会、映画監督講演会、祝賀会、  
 福祉施設製品PRと売上増に貢献する福祉ブース販売。  
 日時：平成26年11月16日(日)

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

##### 【旅行】

旅行参加者募集100名に対し108名参加対前年比110%  
 車椅子使用者21名対前年比110%、学生4名参加

##### 【映画上映会、講演会、祝賀会】

地域大学や企業など交えて実行委員会を起ち上げ、松本市教育委員会等のご協力を頂き市施設はじめ各箇所でPRできたおかげで、一般140名、大学生50名、高校生以下10名の来場者があり、介護やボランティアの重要性を認識頂けた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

障がい者旅行は今後も継続を求める声が多く継続したい。  
 松本山雅がJ1に昇格したので、来松する障がい者も増加する事を考慮し、松本市内のバリアフリーやユニバーサルデザインについて取り組んでみたいと思います。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【日帰りバス旅行】



【映画・講演会の様子】

##### 【目標・ねらい】

- ① 障がい者の自立、社会参加促進
- ② 障がい者旅行の必要性PR
- ③ ひまわり号の理解と参加
- ④ 福祉施設売上げへの貢献

##### ※自己評価【A】

##### 【理由】

30周年事業と旅行が他業種との協力で終了し、ひまわり号の取組みの必要性が理解され新たな連携も生まれた。